デオパワー処理
現場試験結果

デオパワーとは、複数菌を混合させた液体（デオパワーＧＬ）又はタブレット（デオパワーＧＴ）で、通性嫌気性菌がグリストラップや雑排水槽内の油泥を減少させ人体に悪影響のある硫化水素などの悪臭（ドブの臭い：腐卵臭）を軽減する環境薬剤です。
大型工場の廃水から飲食店の排水溝用まで多岐にご利用いただけます。

Tokyo Seed's
東京シーズ株式会社 〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-21-11 Tel. 03 4216 4263

デオパワーは通性嫌気性菌

ビルAにおける店舗排水の流れ

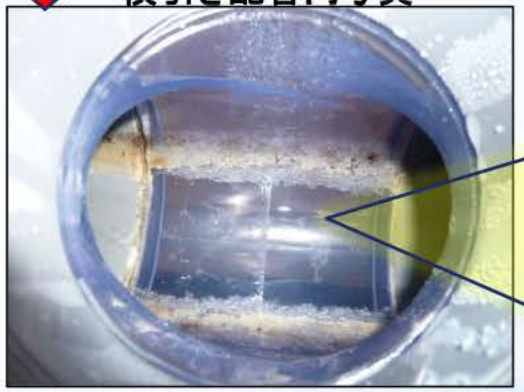
店舗グリストラップ写真

店舗グリストラップ

A店舗　B店舗　C店舗　D店舗

上　流

横引き配管内写真



下水へ

下　流

雑排水槽

P

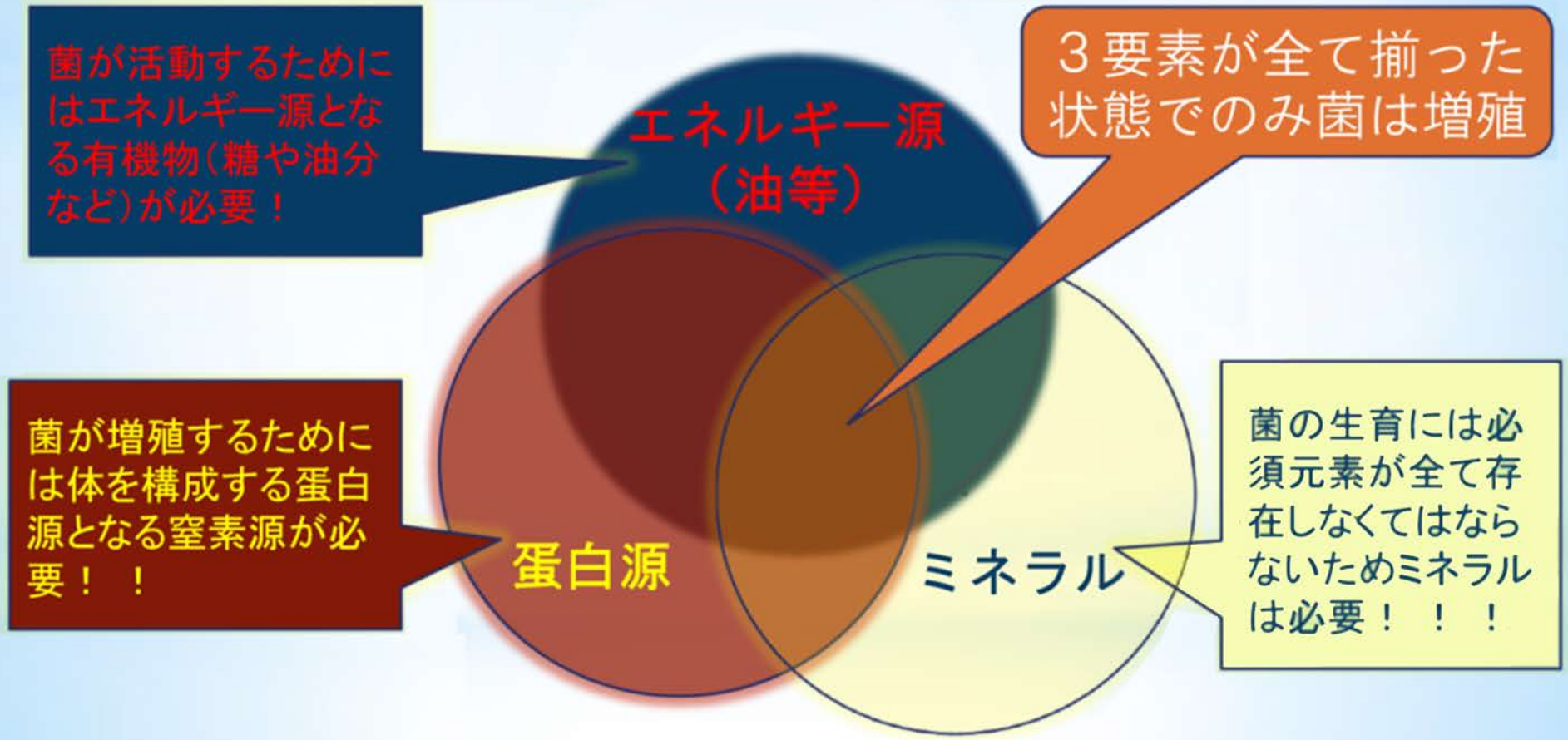
一般的に使用される処理剤は、好気性菌タイプの為、グリストラップでしか効果を発揮できない。

DP-GTは通性嫌気性菌タイプ。
好気条件下のグリストラップは、もちろん嫌気性菌条件下の配管内でも効果を発揮する。
⇒配管内でも油を分解するので底に油が堆積しない。

デオパワーは全ての箇所で効果を発揮できる！

⇒上流からの処理が最も効果的！　！

臭気の発生原因は悪玉菌
→増殖条件を崩す



3要素のどれか1つでも欠ければ菌は活動不可能となる

デオパワー処理結果（ビルA）

ビルA：総括		
店舗厨房内	投入前	B店舗及びC店舗で腐敗臭があった
	現在	全くなし
店舗GTP	投入前	全店舗で腐敗臭、C店舗ではアンモニア臭があった
	現在	全くなし
ポンプ室内	投入前	硫化水素臭あり
	現在	全くなし
ビルテナント	投入前	硫化水素臭によるクレームがあった
	現在	全くなし
雑排水槽槽内	投入前	硫化水素臭が非常に強かった
	現在	かなり臭気は減少している
雑排水槽排水	投入前	硫化鉄由来の黒さがあった
	現在	色は薄くなっている
雑排水槽スカム	投入前	固形物となり配管内や底面に堆積していたため水面に浮いてこない
	現在	分解物となったスカムが薄く浮上している

処理結果	硫化水素濃度平均値推移			
		無処理	(2013/11/7～11/18)	＞125.0 ppm
		処理後	(2014/5/8～5/26)	26.3 ppm
			(2014/5/26～6/17)	23.5 ppm
			(2014/6/17～7/15)	17.4 ppm
			(2014/9/2～9/30)	20.7 ppm
			(2014/9/30～10/28)	15.6 ppm
			(2014/10/28～11/27	23.3 ppm
			(2016/8/23～8/26)	9.4 ppm

硫化水素を大幅に低減！

グリストラップ処理　①
某ショッピングモール：某カフェ

投入前　　投入後

※グリストラップ第１槽から剤を投入することでグリストラップ内にあった乳製品由来の油脂の硬化と付着がなくなり、排水も浄化され透明化するようになった。

グリストラップ処理　②
某スーパーの精肉室グリストラップ

投入前　　投入後

※生肉室のシンクから剤を投入することで下流のグリストラップ内に動物性油脂の硬化がなくなり、槽内の壁面への付着が減り浮上カスも細かく分散するようになった。

グリストラップ処理　③系統別

某うどん屋
店舗グリストラップ
DP-GT処理前写真

処理後

某居酒屋
店舗グリストラップ
DP-GT処理前写真

処理後

某洋食屋
店舗グリストラップ
DP-GT処理前写真

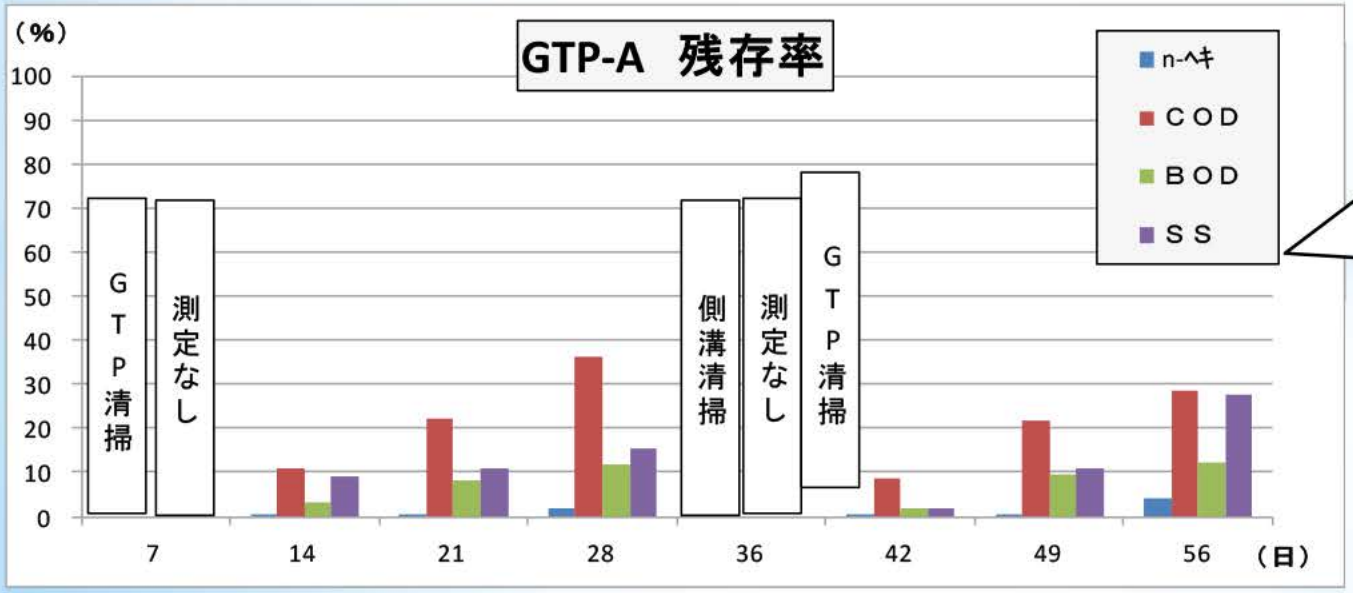
処理後

グリストラップ処理 ④排水測定値

表1）GTP排水の測定日と測定値

	測定値(mg/L)	8/30	9/6	9/13	9/20	9/27	10/5	10/11	10/18	10/25
GTP-A	n-ヘキ(ノルマルヘキサン抽出物質量の略)	2,000	—	5	7	39	—	2	11	81
	COD(化学的酸素要求量)	330	—	36	73	120	—	28	72	94
	BOD(生物化学的酸素要求量)	3,000	—	100	240	350	—	60	280	370
	SS(浮遊物質量)	900	—	80	100	140	—	17	97	250

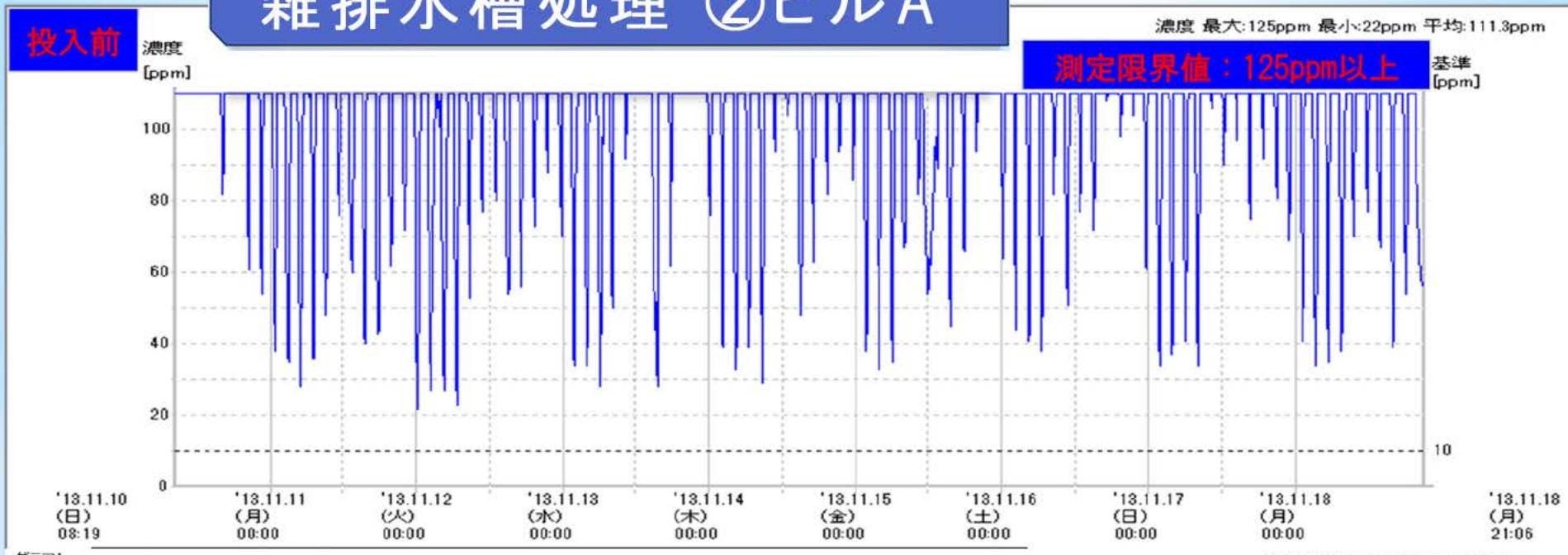
表1）GTP-A 残留率



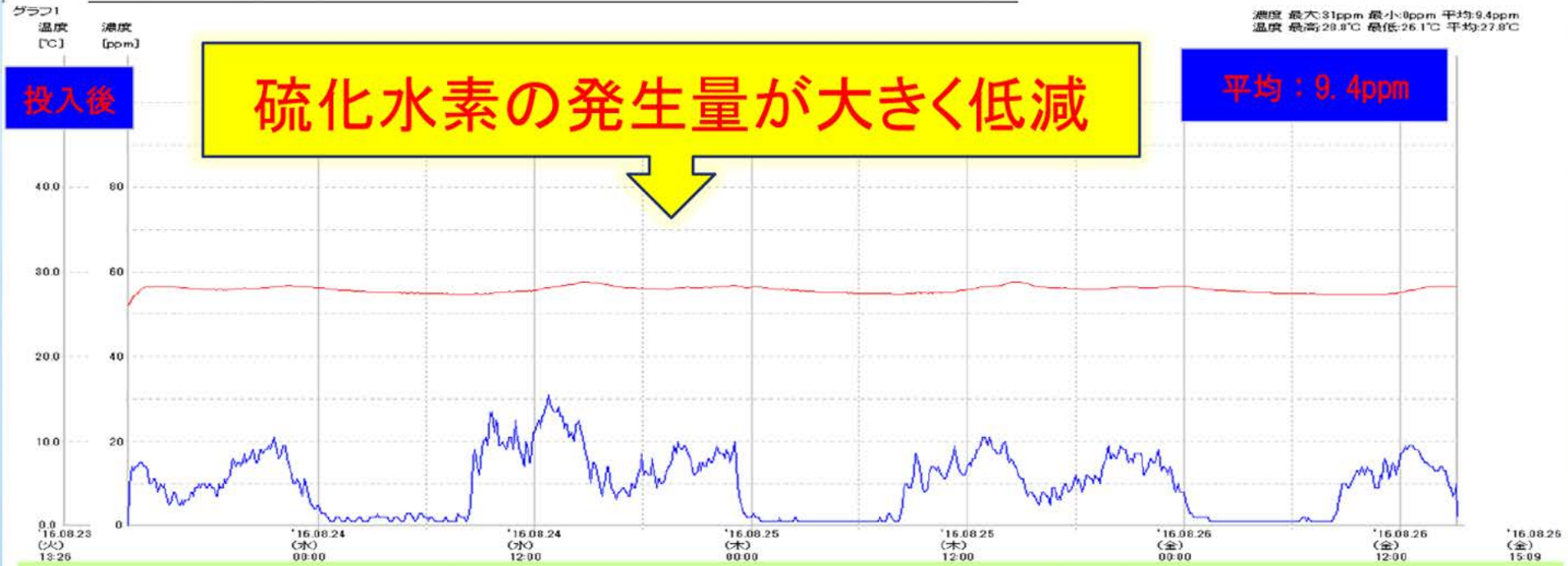
隔週1個
ﾃﾞｵﾊﾟﾜｰGT投入
全項目：大幅に低減

雑排水槽処理 ②ビルA

投入前



投入後

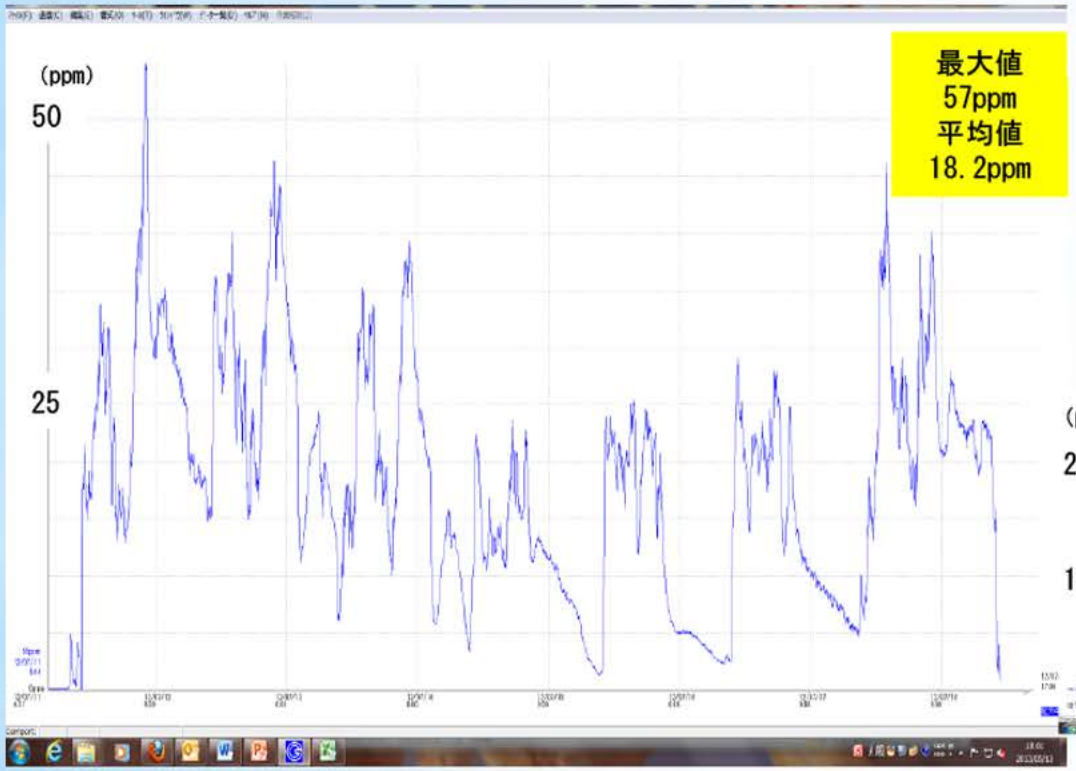


硫化水素の発生量が大きく低減

平均：9.4ppm

硫化水素：気相値の連続測定結果

雑排水槽処理 某ビルB
他社バイオ剤との比較



硫化水素：気相値の連続測定結果

平均18.2ppm：MA×57ppmが平均2.7ppm：MA×18ppmになった。
（他社剤からデオパワーに変更した結果、平均値は約1/7に低減）

雑排水槽処理 ①某ビルC

投入前　　投入後

※　雑排水槽の上流にあるグリストラップ第一槽から剤を投入することで下流域の動物性油脂の硬化がなくなり、槽内の堆積油脂が泥状になり壁面にも付着し難くなった。

配管の油詰り抑制効果①

配管の油詰りによる水漏れを起こしたビルDの店舗排水が長期間配管内に溜まるとどうなるかを検証するために、DP-GT投入前後で排水を採取し比較を行った。

投入前
(7/18)
採水
写真左:
上澄み
写真右:
下澄み

2か月後

付着した汚れが容器に付着したまま硬化し残る

2か月放置後

このような排水が長期間流入すると配管詰りを起こす

投入
1週間後
(7/25)
採水
写真左:
上澄み
写真右:
下澄み

2か月後

好気性菌にはない分解効果

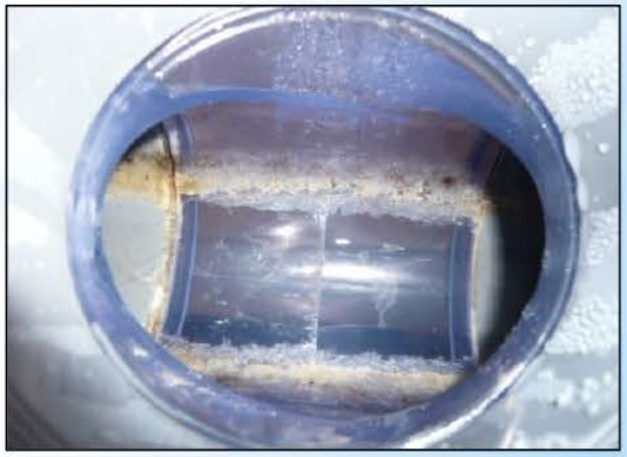
2か月後

配管の油詰り抑制効果②

油詰りにより水漏れを起こした系統に投入⇒油が全く溜まらない！

処理後

配管内で油の堆積が消失！
⇒高圧洗浄の回数を大幅に削減することが出来た。



デオパワーGT投入方法①

ゴミ受けへ投入

140㎜排水口のシンクへの投入方法です。側溝投入に比べて剤の溶解は早くなりますが投入が簡易で埋没式側溝にも対応できます。

側溝へ投入

70mm排水口のシンクではゴミ受けにスペースが少なく剤の溶解速度も非常に速いため、側溝への投入をお薦め致します。

デオパワーGT投入方法②

漬け込み投入

漬け込み用シンクへの投入方法です。剤投入用のカゴを固定して漬け込みます。

（漬け込みシンクの排水は、シンクの栓を抜いた時に瞬間的に流れるため、下流の側溝に剤を設置しても効果を発揮しにくい事が判っています。）

デオパワーGT（液体品）投入方法

薬注機投入

液体品を使用した大きな槽への投入方法です。
デオパワーＧＴに比べ剤の使用料は多くなりますが、投入が簡易で滞留時間のある場所に適しています。

小型機投入

液体品を使用した小さな槽への投入方法です。
排水の流入量の変化が激しい場所へのデオパワーＧＴと併用にも適しています。

機器導入・設計のご相談、承ります

御社のニーズに合わせた機器選定、プラント設計など

製造元とともに現場経験豊富な技術者集団が

トータルソリューションをご提案させていただきます。

どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

info@t-seeds.co.jp

Tokyo Seed's

https://www.t-seeds.co.jp/

東京シーズ株式会社　〒131-0042 東京都墨田区東墨田 3-21-11 Tel. 03 4216 4263